

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）が発行する
「CBI プログラム認証付きサステナビリティボンド」への投資について

学校法人駒澤大学は、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行する CBI 認証付きサステナビリティボンド（以下「本債券」）への投資を実施いたしました。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が、①環境改善効果があること（グリーン性）及び、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債券は、複数の国際基準注1)に適合している旨、国際的な第三者評価機関である DNV による検証と、厳格な国際基準を設ける Climate Bonds Initiative（CBI：低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際 NGO）からのプログラム認証（一度の認証で継続的な債券発行が可能となる制度）をアジアで初めて取得しております。また、本債券の発行により調達した資金は、環境負荷の低減や地域の生活に必要な交通インフラの整備等に充当され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）注2)の達成にも貢献するものです。

本法人は、今後も学校法人としての公共性・公益性に鑑み、持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしていきたいと考えております。

注1) 気候ボンド標準 3.0 版、低炭素交通基準（CBI）、グリーンボンド原則・ソーシャルボンド原則・サステナビリティボンドガイドライン（2018年国際資本市場協会 ICMA）等

注2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲット